

JR秋田バスケット部にクラスター発生！

新型コロナ感染について「申」を提出

感染者へのフォローと感染拡大に注力を！

JR秋田支社内で発生した新型コロナウィルス感染に関する緊急申し入れ

国労秋地申第5号
 2020年 8月24日
 東日本旅客鉄道株式会社
 執行役員秋田支社長
 木村 英明 殿
 国労秋田地方本部
 執行委員長 佐藤浩一

国労秋田地方本部は24日、JR秋田支社に対し「新型コロナウィルス感染についての緊急申し入れ」を行いました。感染者が発生したことは大変残念ではありますが、個人を責めることなく、いかにして感染者を出さない、拡大させないように対策を立てていくのか、国労として会社側の考えを明らかにするよう求めるものです。

《 以下は「申」全文 》

NRU
 国鉄労働組合
 秋田地方本部
 秋田市中通
 7-2-21
 ☎018-832-3775
 発行責任者 佐藤浩一
 編集責任者 編集部

8月7日、JR秋田支社内にて新型コロナウィルス感染者が報告されました。当該者は感染により肉体的な苦痛を負い、また精神的にもかなり追い詰められている状態であることは容易に想定されます。支社ビル内でのクラスター発生は、社員は言うまでもなく、関係機関ならびに広く秋田県民にも混乱と不安、そして多くの疑惑を与える結果となりました。

国鉄労働組合はこれまでのJR会社、支社の対策が不十分とは考えていませんが、結果として多くの感染者を出している現状を鑑みれば、対策の甘さを指摘されても致し方無いと言えます。

当該者は時世を考慮し、発熱した際の問題意識に個々の差異があつたものと考えられますが、会社が社員に言い続けている

リスク管理上、様々な問題が潜んでいることを如実に示す結果となりました。今後、感染拡大防止への観点と、感染経路不明等による感染発生を予防するために申し入れますので、早急に誠意ある回答書を示されたい。また社員に再度周知徹底を行うこと。

1. 支社からの夏季輸送貫徹のための激励等は感染拡大防止のため、メール等のツールを使用し現場訪問等は控えること。
2. 緊急事態宣言終息後、支社・現場の交流を深めるための懇親会が行われているが、時世を考慮し控えること。
3. 感染した当事者から経緯を聞きとり、今後の対策を講じること。
4. 県民感情に考慮し、プレス等を活用し、JR秋田支社内の現状と対策を訴え、世論感情の収束に努めること。
5. 同一フロアに在籍する社員に対し、濃厚接触者以外でもPCR検査を会社の責任で行うこと。
6. 支社内での研修・出

マスクと検温が大事



張は Teams 等のツールを使用し、極力行わないこと。

7. 県を跨ぐ移動は極力回避するよう秋田県からの要請もあるので、相互の出張研修は事態収束まで行わないこと。
8. 今回の事象により独自身の社員、および新入社員は多くの不安や不便を抱えている事から、各自に寄り添った対策を行うこと。
9. 支社以外の社員でもJRと言っただけで、息の自宅待機を要請される事象がある。そのため希望者に対しても、PCR検査を会社の責任で行うこと。

以上